



SATSUKIKAI



特集

**平成30年度
さつき会経営(事業)計画**

しあわせを咲かせて生きる。

さつき

s a t s u k i

2018年5月

Vol.95



(2) 安全・安心な居住環境の提供と住民参加による元気創り・生涯活躍の場づくりを支援する。

①清潔・掃除・整理・整頓の徹底と施設環境保守計画の策定

施設が最後まで人生を楽しく豊かに暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行するとともに、中期経営3か年計画に基づいた災害対策と施設環境改善を実施する。

②地域住民に対する健康寿命延伸に必要な力を養うための教育啓発活動(ヘルスリテラシー・ポピュレーションアプローチ)の推進

鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ外向き介護講座やサロン(地域の茶の間)の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。

③地域の福祉ニーズに応えるための社会福祉事業・地域貢献事業の開発・実施

一般高齢者・中高年等への介護予防の拡充と要支援・軽度の要介護者が、必要な在宅サービスを利用し、可能なかぎり鷹栖町で自立した生活が営めるようサービス付き高齢者向け住宅・総合事業拠点の運営を行政・地域住民との連携・協同の下に運営する。

④ボランティア・地域住民と協働した活動

施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上(生活の質向上)を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。

(3) 在宅生活の継続のため、在宅サービスの全事業所にトータルケアシステムを導入し、的確なケアマネジメントと在宅サービスを提供する。

①中重度者に対する良質高度なケアとマネジメントの提供

施設・在宅を問わず中重度化・重症化リスクのある人に対して、状態悪化を早期に発見し、適切な介護・看護・栄養のトータルケアシステムを導入する。それに基づき分析、対応することにより重症化予防や入院者を減らし、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしをつくりだすケアを提供する。

②小規模多機能ホーム(二か所)・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所の運営改善の強化・推進

「自宅が一番」という高齢者・家族の願いに応えるために、小規模多機能ホーム・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所のケア・ケアマネジメントの質向上と連携を強化する。事業所間がより緊密な連携を図りながら、状態変化後の迅速なケースカンファレンス、退院支援コーディネート、医療機関と連携強化を図り在宅生活の維持及び退院後のスムーズな対応を図る。

また、各事業所が、新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、わかりやすい情報発信と人的ネットワークを築きながら、ニーズを発掘し、サービス提供に結びつける。

(4) 中重度要介護者の自立生活とQOL向上を目指し、多職種協同による根拠に基づいた専門的なケアを提供する。

①美味しく安全な食事の提供

自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より楽しく、より安全に食べることを実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図る。

②専門職として、一人ひとりが介護過程を展開する

利用者一人ひとりの個別性に注目し、身体状況(健康状態)、心理状態、社会的側面を総合的に判断して、どうすれば利用者の「自立とQOL向上」が図られるかを根拠(なぜそうするのか、その理由を説明できること)に基づいて実践・評価する。

さつき会の基本理念である、「自立支援介護」と「最後まで尊厳を守る介護」の具現化を目指し、ケアに従事する全ての専門職が介護過程を意図的・計画的に実践し、より専門性の高いケアを提供する。

(5) 適正利益の確保と業務効率化を図り、安定経営の基盤を整備する。

①適正利益の確保

全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、事業活動収入の5%を目標収支差額(34,110千円)に掲げ、その運営管理(マネジメント)をつかさどる月次業績検討会議・リーダー会議等を実施する。

また、常にサービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。

②鷹栖さつき苑開設30周年記念各種行事の企画

平成30年4月に鷹栖さつき苑開設満30年を迎える。開設を記念した事業を実施するため、「鷹栖さつき苑開設30周年記念事業実行委員会」を設置し、行事並びに事業を計画する。

③企業・入社説明会の参加・開催とSNSを活用した魅力発信

新規学卒者及び転職希望者を対象とした、合同企業説明会に参加するとともに、法人独自の入社説明会を開催する。さらに、多くの方がさつき会で働きたいと思ってもらえるように、若手職員を巻き込みながらSNSを活用し、法人の魅力・強みを日常的にPRしていく。

④鷹栖さつき苑大規模改修工事の計画

築30年の老朽化が進む鷹栖さつき苑の長寿命化を図るため、給排水・暖房設備・機械室・外壁等の建物・設備の大規模改修工事の計画を平成30年度に作成し、平成31年度に実施する。

⑤法人・施設運営の事務業務の標準化の推進

法人経営・施設運営に関わる事務業務及び財務管理・組織管理・事業管理全般にわたる業務が滞ることのないように、標準化・マニュアル化を促進し、円滑かつ効率的に業務が完遂できるようにする。

⑥第4次中期経営3か年計画の推進

いかなる環境下においても、全ての事業所において良質高度なケア・サービスの提供体制と適正利益を確保し続けられる安定経営の実現を図るため、人材育成と財政状況の改善を、第4次中期経営3か年計画に基づき、諸課題を一つずつ確実に解決・解消する。

平成30年度 経営(事業)計画(第45期)

SATSUKIKAI

平成30年度 全事業所職場目標

『まず、やってみる』

全職員が「まず、やってみる」を合い言葉に、個々の成長・成熟とチームの結束を強め、より良い「施設づくり・地域づくり・職場づくり」を実践する

1. できることから“やってみる”

人間は顔が違うように、できることもそれぞれ違います。そのできる力を早く探すひとつの方法が、「できることをする」ということです。まず自分には何ができるかを考えて行動する。

2. 素直に“やってみる”

素直な人は、成功者に学び、謙虚に「まず、やってみます」と行動する。素直でない人は、行動する前に良いか悪いかを考え、不安や猜疑心などにより行動が鈍る。行動して失敗することもあるが、行動したからこそ良かったか悪かったかが判断できる。素直にやってみることが成長の近道と考え行動する。

3. 失敗をおそれず“やってみる”

たとえ失敗や困難が訪れても、「ピンチが『成長』のチャンス」と考えて、「まず、やってみる」。最初はうまくいなくても、あきらめずに続けることで習慣化され、「できた」が増えていく。自信とは「できた」の集積であり、自らの達成感ややりがいを得るためにプラス思考で行動する。

平成30年度 事業活動のポイント

(1) 真の優しさと専門性を備えた職員育成とチーム力(人間関係、相互協力、目標共有など)の向上を支援する。

①基本理念の浸透・共感

職員一人ひとりの考え方(価値観と目標)のベクトル(価値観と目標)がそろうように、研修・会議等の機会を通じて、「理念とは何か」「なぜ理念が必要か」「さつき会が目指す福祉の仕事とは何か」について、リーダー以上の職員が日頃から明確に語れるように努める。事業所単位では、理念を日々の仕事に生かすために、毎日の朝礼、月例会議等において共有・浸透させるための工夫・改善を図る。

②マナー(思いやり)の向上

職業倫理は私たちプロが絶対に守らなければならないものである。日々、モラル・マナーを意識し、その延長線上にある、法令遵守と利用者の尊厳を守るケアに努める。特に、1)抑制(言葉・薬・物理的・肉体的)・拘束・虐待・根拠のない不適切なケアを廃止すること、2)言葉づかい(利用者に対して「敬語」を使うこと)、3)態度・表情(職場内では「明るく笑顔で仕事すること」、4)身だしなみ(清潔で不快感を与えない服装・頭髮・身なり)を徹底し、職員一人ひとりが思いやりの心を体現する。

③専門職として、主体性を持ち継続学習に努める。

専門職とは、専門的な知識・技術・考え方(理念・介護観)を人に伝えられる人である。学びの基本は自学自習・自修自得であることを踏まえ、一人ひとりが自分の将来像を明確にし、そのために必要な「知識・技術・価値観」の習得・形成する。

また、新しい知識・技術を習得し、短時間でも効果のある機能回復訓練・アクティビティ等を取り入れ、利用者のADL・QOL向上を図る。

④10年後の法人運営を見据えた長期人材育成

さつき会の経営理念・ビジョンを共感・理解し、自ら情熱・やりがいを持って、さつき会をより良くするために学習・研鑽・行動する職員を育成するための研修会・諸活動に取り組む。

⑤職員教育プログラムの体系化

利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別く新任職員(入社時研修・フォローアップ研修)、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。

⑥リーダーシップを適切に発揮できるリーダーの育成

リーダーが、明確にチームの目標を明示し、その実現のために職員同士の心と心を通い合わせ、人と人を結びつけ、業務と人間関係の改善を図り、チームワークを築き向上させていけるよう、リーダー以上を対象とする「リーダー研修会」を企画・実施し育成する。

⑦上司と部下の共通目標の明確化

期首(年度初め)に部下と上司が面談を行い、部下の希望する目標、上司として期待する目標を相互に確認した上で、部下とともにその期の目標(①個人目標、②事業所・ユニット単位のケア目標)を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。平成30年度は、経営職・管理職・指導職に実施する。

⑧新・人事・賃金育成システムの推進と改善

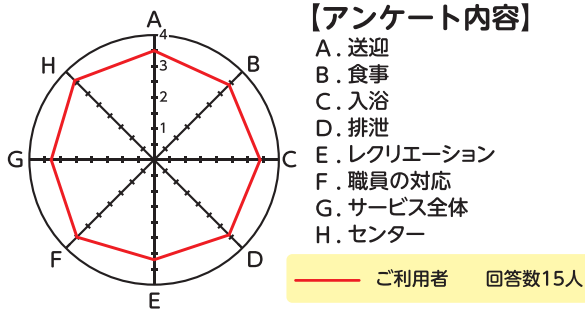
職員の処遇改善・福利厚生の実施を図り、やりがい、働きがいの下支えとなる基盤の強化を図る。同時に、長期的な経営安定を図るため、現行賃金制度とその運用方法の見直しと改善を図り、より多くの職員が安心と希望をもって働けるようにする。

⑨第8回サービス向上発表会の実施

年1回の実践発表の場を持つことで、自分たちの実践を振り返り、評価・見直し、ケア・サービスの改善にチームとして取り組むことでチームワークの向上を継続して図る。また、各事業所・係が互いの実践を共有し相互理解を深める機会とするとともに、より多くの地域関係者、養成校の教員・学生を招き、さつき会のケア・サービスの質向上の取り組みを発信する。

小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

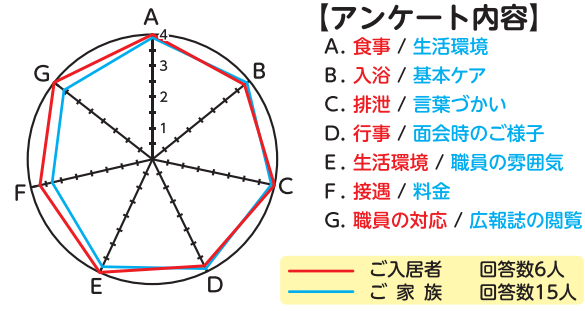
今回の調査ではいずれの項目においても「とても良い」「良い」との高い評価を多くいただきましたが、少数のご意見として「食事はゆっくり楽しめている」の項目についてあまり楽しくないとの回答がありました。要介護度の重い方・病状の進行等に対してのケアが優先となり、「ゆっくり楽しめる食事」の時間を提供できていなかったことを改めて再確認しました。レクリエーションでもやや不満との回答。例年課題となっている「魅力のある充実したレクリエーション」の取り組みが不十分であった事を再確認し、皆様に満足していただけるよう計画・取り組みの改善に努めていきたいと思います。また「身体機能の維持・改善」に関してもあまり改善していないとの回答がありました。ご利用者の体調の把握・管理を十分に行い、自立支援・生活機能向上に向けた取り組みを強化していくことが今後の重要な課題となりました。

今回の結果を踏まえ、サービス向上と改善に向けた取り組みを行い、ご利用者・ご家族の皆様にとって信頼され、満足していただける小規模ホームを目指して努力して参ります。

お忙しい中、調査にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。
 林崎 美紀

多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

「食事」「排泄」「行事」「生活環境」の項目では、昨年同様、協力いただいたご入居者全員より「とても満足」との回答をいただきました。「職員の対応」についても、全員より「とても満足」との回答をいただきましたが、「言葉づかい」については「もっと解りやすく言ってほしい」とのお話があり、今一度、全職員で見直す機会になりました。今後、よりご満足いただけるよう取り組みたいと思います。

ご家族の回答では「満足」が多く、面会時にご入居者の笑顔や穏やかな表情が見られて安心した等のご意見も多くいただき、大変嬉しく感じます。

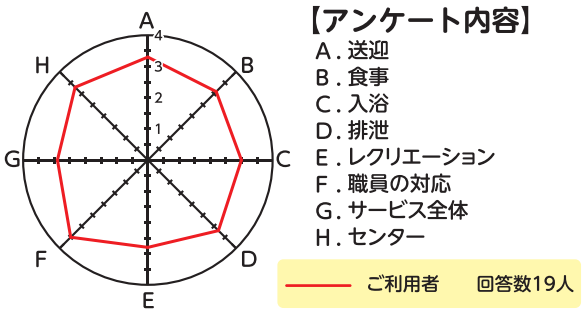
自己評価については、昨年度は全ての項目において「やや不満」と感じている職員がおり、今年度は、それを踏まえて取り組んでまいりましたが、4つの項目で「やや不満」と感じている職員がおり、全職員が満足したサービスを提供させていただいたとは感じておりませんでした。まだまだ自分たちの知識や技術の不十分さを痛感した結果でした。次年度はこれらの項目について向上・改善に取り組みたいと思います。

今回も、皆さまから大変貴重なご意見をいただきました。自らのサービス内容・業務態度の見直しをし、サービスの質の向上に努めて参ります。アンケートにご協力いただいた皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

秋保 友美

小規模多機能ホーム めくもりの家えん

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

小規模多機能ホームでは、改善すべきサービス内容や課題を明らかにし、サービスに質の向上を図ることと、サービス提供者側である職員を対象に満足度調査を実施しました。

回答の中で、「送迎」「職員の対応」の質問では、「とても良い」「まあよい」との回答に100%と高い評価をいただきました。また、「食事の献立に満足・おいしい」「排泄」に84.2%以上「よい」とありました。しかし、「レクリエーション」項目の「手足の動きが改善」は8名の方から「ややよくない」「よくない」との評価をいただき、体操や個別リハビリといった身体機能の維持・向上が図れる支援が足りないと感じました。

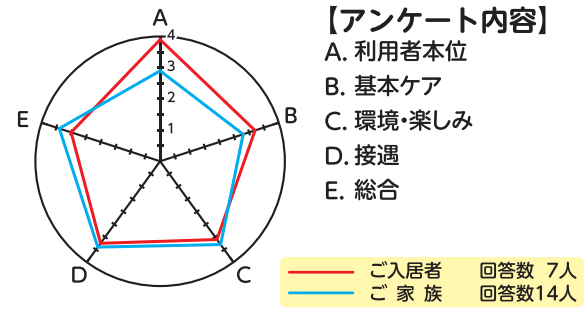
「ここに来て楽しい」「元気になる」と満足していただけるよう、そして住み慣れた自宅での生活が継続出来るように、サービス内容の改善に向け取り組んでまいります。

今回の満足度調査で、日頃のサービス内容を振り返る機会をいただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

津野 良江

地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

満足度調査にご協力ありがとうございました。

特養えんも重度化が更に進み平均要介護度も3.5となっております。そのため、ご入居者のご意見につきましては7名となっております。ご家族の方につきましては昨年、半数でしたが、今回は7割の回答でした。

ご入居者の意見は、昨年あった利用者本位という点での不満はないが、排泄ケアで「すぐに来てくれない」と不満を感じていました。また、食事についてやや不満の評価がありましたが、詳細は食事のアンケートをみて確認し改善を図りたいです。

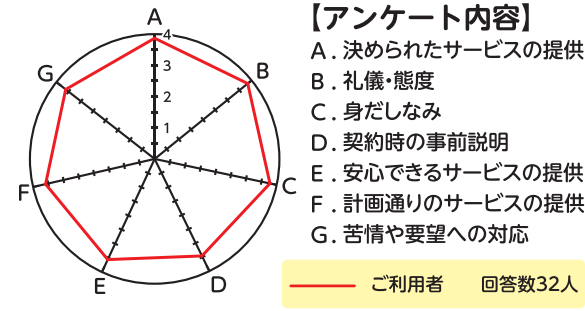
ご家族においては、利用者本位の認知症ケアと基本ケアの排泄に対し満足していない方がいました。こちらについては、詳しい状態を定期的にお伝えし、互いの理解ができるように努めると共に、認知症の理解についても研修を行い深めていきたいと思います。

職員も昨年同様6割は自分たちの仕事に満足しておりますが、更に研鑽しご入居者により良いケアと、ご家族にご理解いただけるケアを目指し努力していきたいと思います。今後ともご指導とご協力をお願いいたします。

谷本 政美

鷹栖町ヘルパーステーション さつき苑

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

今回の調査では、「決められたサービスの提供」「礼儀・態度」「身だしなみ」の3項目で、全員から「ほぼ満足・満足」の高い評価をいただくことができました。反対に、残りの4項目で「やや不満・不満」の回答がありました。

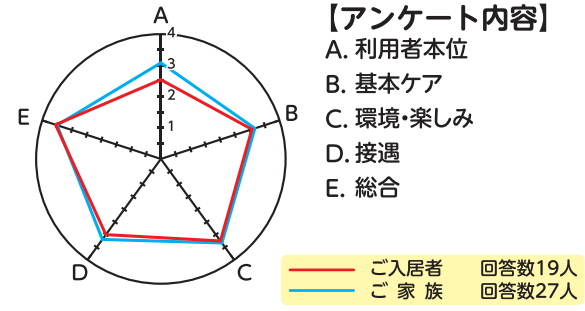
「契約時の説明」については、わかりやすい言葉で簡潔に説明する事を心掛けていますが、時間が経過すると曖昧になってしまうこともあるため、その都度説明していきます。「安心できるサービスの提供」については、コミュニケーションを十分にとりながらサービスの提供を行い、信頼されるように努めます。「計画通りのサービスの提供」については、介護計画書を確認していただき、ご理解を得た上でのサービス提供をしていきます。「苦情や要望」については、ヘルパーによってばらつきのない統一したサービスの提供ができるように、研修・会議などで共有していきます。

今回も多くのご意見をいただきましたので、今後も職員一丸となってサービスの向上に努めていきたいです。お忙しい中、ご協力いただきましたご利用者・ご家族の皆様にお礼を申し上げます。

伊藤 尚子

特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

今回の調査ではご入居者19名とご家族27名にご協力いただきました。ご入居者の回答では、いずれの項目においても「満足」が6～7割以上を占めたが、「利用者本位」「基本ケア」「接遇」で数名から「やや不満」がありました。

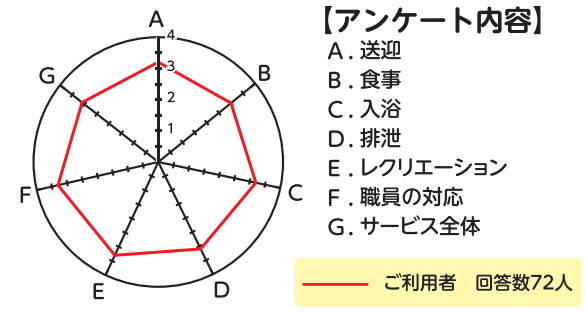
ご家族の回答では、7～8割の方が「満足・おおむね満足」と回答してくださいました。一方で「利用者本位」「接遇」の各項目では数名から「やや不満」との回答がありました。

今回の調査では、個性の高い回答を除き、ご入居者とご家族共通して、接遇について改善及び質の向上の必要性が明らかとなりました。社内研修を通じて接遇・マナーの向上を図り、ご入居者ご家族共に安心してサービスをご利用いただけるよう質の向上を図ってまいります。また、調査は設問に回答できるご入居者のみの実施となっているため、回答数は全ご入居者の半数以下にとどまっています。要望を上手く伝えられない方に対しても、日常の関わりの中でくみ取っていききたいと思います。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

設楽 剛寛

鷹栖町デイサービスセンター はびねす

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

今回「送迎」「入浴」「レクリエーション」「職員の対応」に高評価をいただきました。「レクリエーション」の項目内の「体操により身体機能の向上につながっている。」は昨年度「よくない」の項目上位にあがっていましたが、今年は「よい」の上位項目にあり、あったかす体操の効果もあるのでは、と感じております。

また、課題としては「食事はゆっくり楽しめる」「食事の内容、形式」の評価が低い結果となりました。

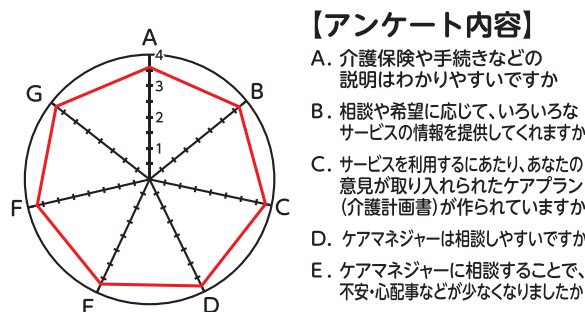
昨年度より始めたバイキング形式ですが、「順番に並ぶ、待つ」などの社会的関係や立位、バランスのリハビリ的側面、自己選択、実行機能のトレーニングなど生活リハビリを高めるために始めたものの、その意図を伝えきれていないことが大きな原因と思われます。また、その他の課題として、お膳を作るだけで自由度が低い、見栄が美味しそうでない、スペースの整理ができていない等があり、今後一つ一つ検討していきたいと思います。

今回の満足度調査で、たくさんの貴重なご意見を寄せていただき、日頃のサービス内容を振り返る機会をいただいたことに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

柳原 明美・中山 里恵

介護センター さつき苑

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



【満足度調査集計結果の総評】

公的な制度は年々複雑化しているため、居宅介護支援事業所でも最新の情報を把握し、引き続き制度・ケアプラン・手続き等についてご利用者・ご家族により分かりやすくお伝えできるように工夫していきたくと考えております。

全体を通しては満足・普通との声を多くいただきましたが、やや不満の大変貴重なご意見もいただいております。

概要としては、介護で自宅を空けることに不安があり、介護保険外の代行申請等の手続きが大変という内容でした。

居宅介護支援事業所としても、さまざまな申請手続きについても状況を把握することに努め、本人やご家族が手続きしやすいように体制を整える・鷹栖町と連携を図り代行申請可能であれば対応していきたいと考えております。

次年度に向けて改善が図れるようにより一層の努力をしていきたいと思います。調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

伊賀 あけみ



第7回 さつき会サービス向上発表会

今年は3月15日に開催され、5事業所9名が発表しました。
最優秀賞には、施設入居を望まない一人暮らしの高齢者がサービス付き高齢者住宅へ入居するまでの取り組みを発表した、介護センター「地域で暮らし続けるために」が選ばれました。
どの発表も日頃の努力と工夫がよく伝わり、涙ぐむ職員もいるほどのとても充実した素晴らしい発表会となりました。

事務員 高橋 良恵



採用予定の学生さんも熱心に聞き入りました



発表者全員でパチリ

この度は最優秀賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。また、このような発表の機会をいただき大変光栄に存じます。

今回の受賞にあたり、多職種連携・地域とのつながりの大切さを改めて感じることができました。これもひとえに関係者の皆さまのお陰です。今後も多職種の連携強化を図り、その人らしい生活を支えていけるよう日々邁進していきたいと思います。

介護センター ケアマネジャー 坂林 美幸
(前列左から2人目)

平成29年度 第4回ヘルパー茶話会

2月25日、北野地区住民を対象に、18名と大変多くの方にご参加いただきました。

まずフィットネス「コレカラ」で、谷課長による「生活不活発病」のお話があり、次に「あったかすりハビロ体操」です。皆さんすでにほとんど覚えていてくださり、バッチリでしたよ！

そのあとは、地域交流スペース「あえ〜」にて茶話タイムです。久しぶりの再会を喜んだり、大笑いしたり、最高の楽しいひとときを過ごすことができたのではないのでしょうか。

ご参加いただいた皆さま方、本当にありがとうございました。

主任 米澤 美絵

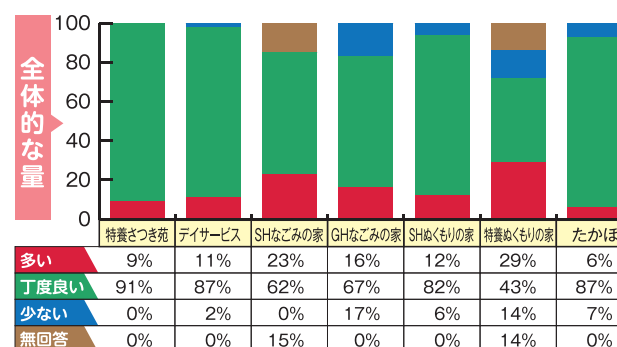
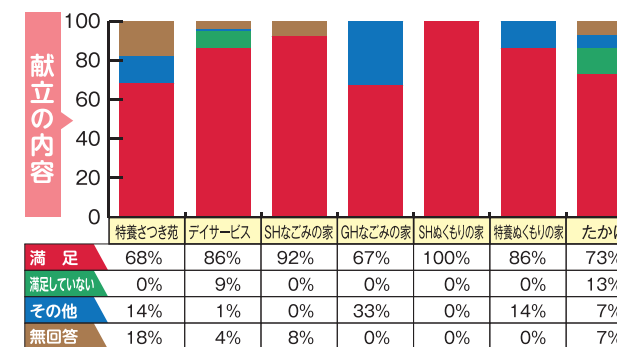
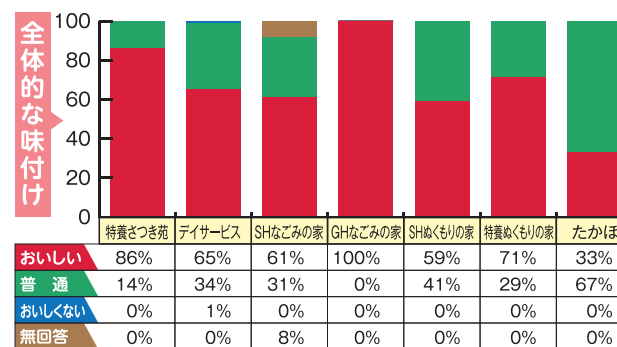


皆さんバッチリです！



元気ハツラツ！

平成29年度 さつき会食事サービス満足度調査結果報告



各施設アンケート回答者数

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑	入居者数50名	うち回答者	計22名
デイサービスはびねす	利用者数80名	うち回答者	計71名
SH鷹栖なごみの家	利用者数18名	うち回答者	計13名
GH鷹栖なごみの家	入居者数18名	うち回答者	計6名
SHぬくもりの家えん	利用者数20名	うち回答者	計17名
特養ぬくもりの家えん	入居者数20名	うち回答者	計7名
ぬくもりの家たかほ	入居者数15名	うち回答者	計15名

(SH=小規模多機能ホーム・GH=グループホーム)

食事サービス満足度調査を終えて

今年の1月～3月にかけてご入居者・ご利用者を対象に食事サービス満足度調査を実施し、皆様から直接ご意見・ご要望をたくさんいただきました。

これらの貴重なご意見等につきましては、他職種と協力して改善に努めて参ります。

特養さつき苑ではデイサービスとの厨房一元化により温度や固さについて課題がありましたが、盛り付け時間の徹底により、評価を下げることなく提供することができました。本年度は「あたたかい」との声が増えるよう、提供時間を意識して取り組んで参ります。

デイサービスでは厨房一元化とバイキング形式を実施し、食事の味についての評価の減少が見られました。量・温かさ・味、全てにおいて満足していただける食事を召し上がっていただき、楽しい食事の場を作ることができるよう、改善に努めて参ります。

なごみの家・ぬくもりの家えんでは「食事の温度がぬるい」との声が昨年度より多く聞かれました。本年度は「食事の盛り付けから配膳までの時間を見直し、皆さまに温かいお食事をお届け出来るよう取り組んで参ります。また、食事量については個別に対応し、無理なくお食事を召し上がっていただけるよう工夫して参ります。

ぬくもりの家たかほでは、開設して初めての満足度調査を実施させていただきました。主食と汁物をご自分で盛り付けするスタイルのため、量と温度については「ちょうどよい」との声が多く聞かれました。今年度は、より食事を楽しみにしていただけるよう、日々の献立や季節感のある食事を提供していけるように努めて参ります。

今後も、ご入居者・ご利用者の要望や意見をお聞きしながら、できるだけ日々の献立や行事食に取り入れて行きたいと思っています。

さつき会の食事を通して、心から元気に、そして楽しい時間を過ごしていただけるよう、一層努力して参ります。

ご協力いただいた皆さまには、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

管理栄養士 鈴木 さゆり・己上 純子





新しい入居者のご紹介

さつき苑
山田 ハナ子 様

さつき苑
中村 静子 様

さつき苑
舟根 洋子 様

さつき苑
原 直 様

ぬくもりの家えん
川合 澄子 様

- 《ぬくもりの家えん》
- シーツ交換ボランティア様
- 洗面台清掃ボランティア様
- 除雪ボランティア様
- 学習療法ボランティア様

- 《鷹栖なごみの家》
- 学習療法ボランティア様

- 英国式リフレクソロジー凛様
- Pure Heart 様

- アロマリラクゼーション
- 鷹栖町老人会カラオケクラブ様
- 学習療法ボランティア様

- 《デイサービスセンター》
- ひまわり会 様

- 《鷹栖さつき苑》
- ひまわり会 様
- フレッシュ親睦会様



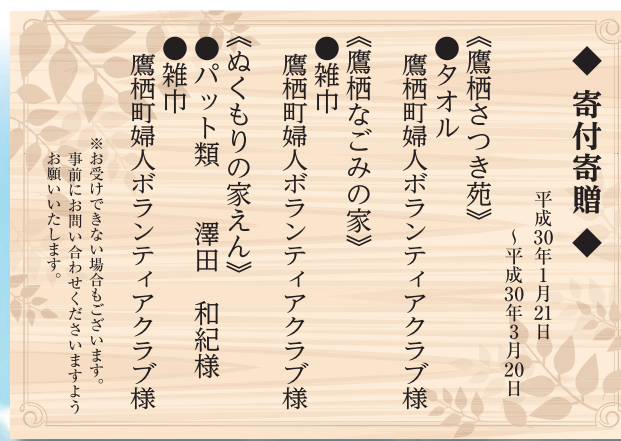
すっかり季節は春となり、北海道は心地良い季節を迎えています。新任職員も入社し早1ヵ月となり、新たな気持ちで新年度をスタートさせています。前年度よりも良い1年になるよう、皆で力を合わせて頑張ります。

季節の変わり目、体調を崩しがちになってしまいますが、体調管理にも気を付けてお過ごし下さい。

今年度も、行事や日常の出来事などを皆さまにお伝えしていきますので、よろしく願いいたします。

谷岡 宏樹

編集後記



ぬくもりの家えん ひなまつり



平成30年度 入社・辞令交付式 永年勤続表彰式

今年は稀に見る大雪でしたが、一気に春となった4月2日、木津理事長より新規採用者10名に辞令交付が行われました。3月28日から研修が始まってはいるものの、改まった雰囲気、不安と緊張が入り交じった面持ちでした。

また、30・10年の長きにわたりさつき会に貢献してきた永年勤続者5名(30年:波瀾幸敏施設長、谷本政美部長)(10年:篠崎教子(生活福祉課)、堀江八枝子(同)、近間愛美(同))に表彰状ならびに副賞が贈られました。これからも益々のご活躍を期待しています!

事務員 高橋 良恵



くもん学習療法サポーター交流会行いました

学習療法は、簡単な計算や読み書きの教材を通してコミュニケーションを図ることができ、認知症やその進行予防に効果があります。

平成28年2月末より、ぬくもり友の会の16名の皆様が研修を行い、学習療法サポーターとして活躍していただいています。平成29年2月には第2期生として、新たに5名の方、今年の3月より第3期生として、6名の方が研修を行いサポーターとして一緒に楽しく行っています。

その学習療法サポーター同士の意見交換の場として「サポーター交流会」を開催し、第3回目を3月になごみの家にて行いました。

内容は、学習療法サポーター実施のポイントと、全道の学習療法の取り組みについて学習しました。日常の疑問点や、各地域での取り組み状況について知る機会となり、笑顔の多い時間となりました。

能登 純子

新規加入メンバー

- ・坪崎 悦子様
- ・三島 裕子様
- ・菱山 雅子様
- ・三宅 照美様
- ・助安 きよみ様
- ・真名子 博子様



新任職員 紹介

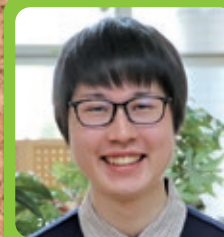
よろしく
お願いします!



鷹栖 さつき苑



総務課長 木幡 千代子



介護職員 福井 拓人



介護職員 野田 愛深



介護職員 畠山 幸女



介護職員 武曾 勇太

ぬくもりの家 えん



介護職員 金巻 雛乃

鷹栖 なごみの家



介護職員 大坪 美愛



介護職員 井内 智香



介護職員 沼野 晴香



介護職員 高橋 菜緒

デイサービス センター はぴねす



運転員 高橋 輝満



運転員 阿部 敏男



介護職員 膳法 絵里奈



介護職員 仲里 梨紗

ヘルパー ステーション さつき苑



訪問介護員 藤田 真紀



特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
居宅介護支援事業

鷹栖さつき苑

〒071-1201 鷹栖町南1条3丁目2番7号
TEL (0166) 87-3321

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能ホーム
地域交流スペースふれあい茶ろく てくてく

ぬくもりの家えん

〒071-1249 鷹栖町9線4号5番地
TEL (0166) 87-5824

多機能型グループホーム・小規模多機能ホーム

鷹栖なごみの家

〒071-1201 鷹栖町南1条1丁目1番20号
TEL (0166) 59-3321

サービス付き高齢者向け住宅・フィットネス倶楽部 コレカラ
地域交流スペース あえる

ぬくもりの家たかほ

鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑
〒071-1223 鷹栖町北野東3条1丁目7番1号
TEL (0166) 76-5037

◆ ホームページ ◆

さつき会

検索



<http://www.satsuki-kai.jp>

◆ ブログも更新 ◆

さつき会ブログ

検索



http://blog.livedoor.jp/satsuki_kai/